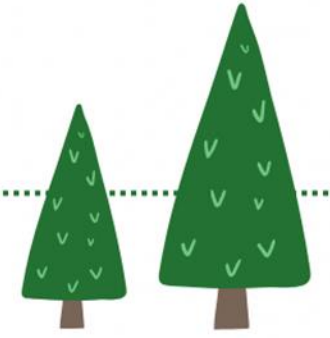


第2回 生涯学習施設整備推進審議会

胎内市生涯学習課
令和7年12月22日



諮問内容・所掌事項について



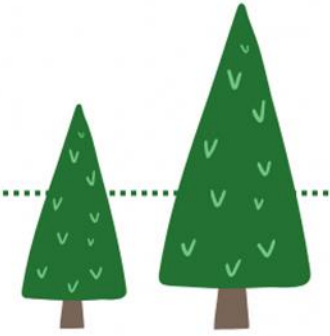
【諮問事項】

- ・ 望ましい施設整備と整備後の利用促進等について

【留意事項】

- ・ 市全体の施設として、市民の最大公約数が利用しやすいものとなるよう、中心市街地からの距離や交通アクセス、周辺環境、学校等の公共施設の立地との整合等を考慮していただきご意見賜りたいと思います。

諮問内容・所掌事項について（つづき）

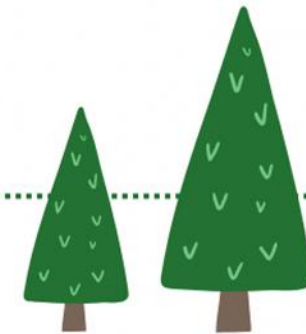


【所掌事項】 ※審議会条例第2条

審議会は、市長の諮問に応じ、次に掲げる事項について必要な調査及び審議を行い、その結果を市長に答申する。

- (1) 生涯学習施設の概要及び機能並びに建設候補地に関する事項
- (2) 前号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項

目次



- | | | |
|---|------------------|------|
| 1 | 第1回審議会のおさらい | P4～ |
| 2 | 視察した他市町村の事例紹介 | P7～ |
| 3 | 新たな複合施設のイメージについて | P12～ |
| 4 | グループディスカッション | P18～ |
| 5 | 今後の進め方について | P22～ |

1 第1回審議会のおさらい



候補地選定について

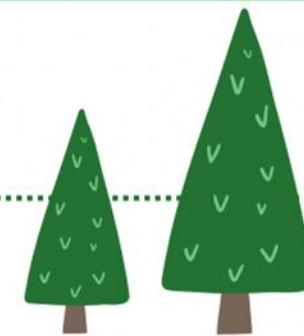


- ・ 審議会メンバー内で基本構想、基本計画によるコンセプトに関する認識を深める必要がある。
- ・ 基本計画が意図とする施設イメージが湧きづらいため、候補地の選定の前に共有が必要
- ・ 審議会メンバーが共通認識を持つため、グループディスカッションを実施してはどうか



コンセプトに基づいた施設のイメージを捉えることで候補地選定の検討がしやすくなる

アンケートについて



【アンケートを聴取することの適否について】
実施に関しては、次のような理由で否定的な意見が大半だった。

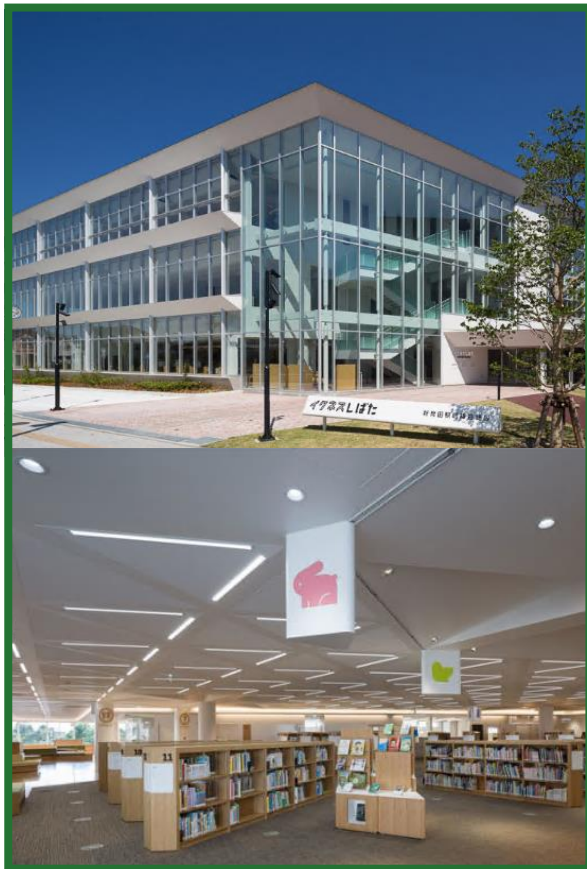
- ・ アンケートは回答する人だけの意向に限定される。
- ・ 施設への理解度や立場が違う人が多くいる中で、共通認識を持つことは難しく、その結果をどのように受け止めてよいのか判断がつかない。

2

視察した他市町村の事例紹介



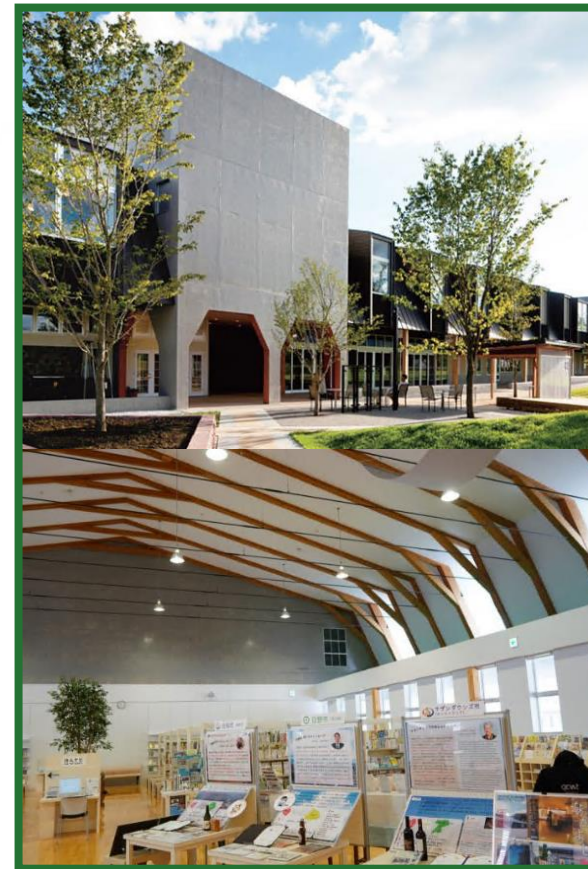
視察した他市町村の事例紹介



「新発田市 イクネスしばた」



「小千谷市 ホントカ。」



「岩手県紫波町 オガール紫波」



「三条市 まちやま」

※画像：各市町村HPより引用

視察した他市町村の事例紹介①

小千谷市 「ホントカ。」

◆概要

【敷地面積】 約8,000㎡ 【延床面積】 約4,600㎡ 【蔵書冊数】 約15万冊
【開館】 2024年9月 【所在地】 新潟県小千谷市

◆コンセプト

多種多様な人々が多様なままに自分らしく居られる日常の居場所あらゆる人々が利用可能性を持つ場

◆特徴

「ホントカ。」は図書館を核に据えつつ、郷土資料展示、市民活動促進、子育て支援機能を融合した情報環境を提供しています。

施設各所では趣味講座や地域づくりワークショップなど多彩なプログラムが開催され、市民の参加を促進。あそび場や交流スペースが子どもや親子の居場所となり、学生の自学や読書も盛んです。また、館内はおしゃべり可能で、飲食可能なエリアがあったりと自由に活用ができます。また、市民活動の出店等へ配慮や再生可能エネルギーの活用（地中熱・太陽光・雪室）を活用した空調や地熱発電）による持続可能な運営も特徴で、市民の知的・文化的活動の拠点として地域コミュニティ活性化に貢献しています。

視察した他市町村の事例紹介①（つづき）



視察した他市町村の事例紹介②

岩手県紫波町 「オガールプラザ」

◆概要

【敷地面積】 約107,000m²

【延床面積】 約5,800m²

【蔵書冊数】 約10.7万冊

【開 館】 2012年6月（図書館：同年8月）

【所在地】 岩手県紫波町

◆コンセプト

「知りたい」「学びたい」「遊びたい」を支援する

◆特徴

紫波中央駅前の10.7haに展開する「オガール」は官民連携で誕生した複合エリアです。駅前の官民複合施設「オガールプラザ」には図書館、産直マルシェ、子育て支援センター、貸しスタジオが入り、周辺にはエコ住宅の分譲地、体育館、ホテル、町役場など多彩な施設が集積しているのが特徴です。

官民が協働し、テナントの家賃収入などを見込んだ維持管理の持続性を確保しています。また、図書館では多様なイベントや企画展も展開しており、年間15万人が来館しています。

3

新たな複合施設のイメージについて



新たな複合施設のイメージについて

※配布資料2参照

<新たな生涯学習施設の基本的なコンセプト>

『つなぎ・育む』情報・文化・交流の拠点

多世代交流拠点

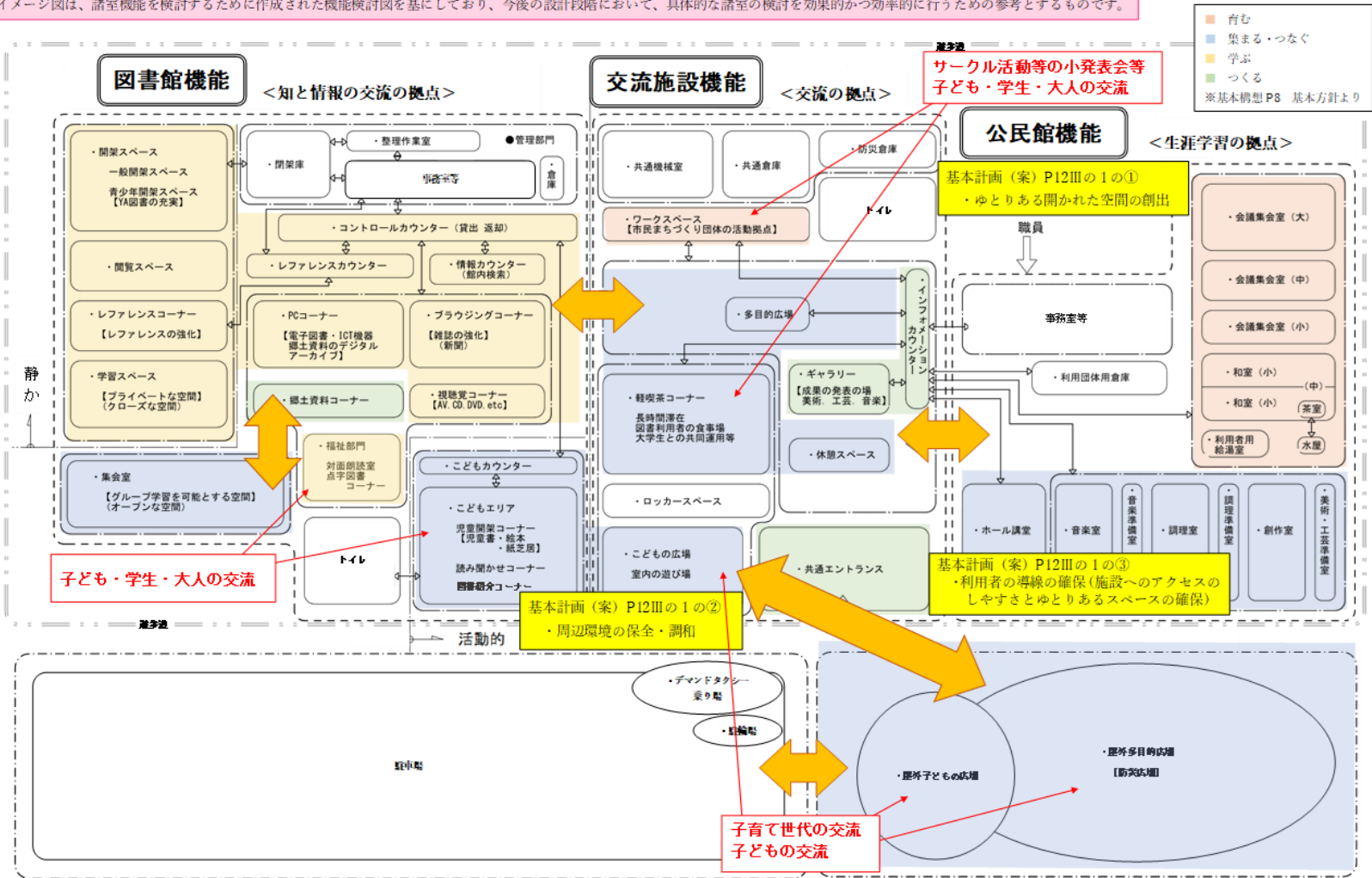
子どもから高齢者まで、地域の多様な人々が集い、学びや体験を通じて、お互いにつながりながら、人と地域がともに育まれる場とします。

<基本計画（案）P19の5>

新たに整備する生涯学習施設は、基本構想において従来の公民館や図書館の利用者に加え、子どもや子育て世代をターゲットとするとともに、多世代が利用し交流する施設を整備することが目的とされており、施設設計においては、利用者が長時間快適に過ごせるよう、広くゆとりを感じられる空間を確保することが求められています。建物内部は、来館者が快適に過ごせるよう、ゆったりとした空間とするとともに、屋外には子どもたちが自由に遊ぶ遊具施設を設けた広場や、多様な人々の交流を促進するための交流スペースの整備を検討しており、そのため、広さに余裕のある敷地が求められます。公共交通機関としては、デマンドタクシーの活用を想定していますが、大多数の施設利用者は市内各地から自家車で来館することが見込まれるため、幹線道路からのアクセスが容易で、まとまった台数の駐車場が確保できることが条件となります。

資料 2

※このイメージ図は、諸室機能を検討するために作成された機能検討図を基にしており、今後の設計段階において、具体的な諸室の検討を効果的かつ効率的に行うための参考とするものです。



新たな複合施設のイメージについて（胎内市の機能検討図での考え方つづき）

育む



新たな複合施設のイメージについて（胎内市の機能検討図での考え方つづき）

集まる・つなぐ



新たな複合施設のイメージについて（胎内市の機能検討図での考え方つづき）

学ぶ



「画像：Canva AI生成（<https://www.canva.com>）」

新たな複合施設のイメージについて（胎内市の機能検討図での考え方つづき）

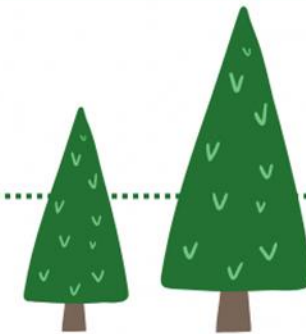
つくる



4 グループディスカッション



グループディスカッション



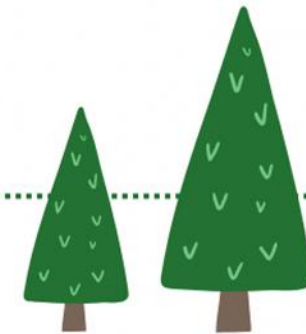
【目的】

基本計画案の確認・補足

新たな意見出しではなく、既存の基本計画（案）に基づいたコンセプトや機能検討図等を参考にして、審議会メンバーが共通認識を持つことを目指す。

なお、あくまでも候補地を決めるうえでのポイントを整理するものであり、具体的にどういう施設にしていくかについてはこれから設計段階で行う。

グループディスカッション



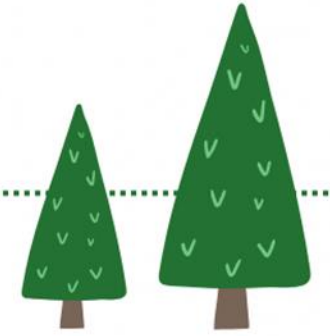
【全体の流れ】

①グループディスカッション（5人×3グループ） 30～40分

各グループでテーマに沿ったディスカッションを行います。

②各グループで出た意見を事務局から報告 10分

望ましい施設整備と整備後の利用促進等について



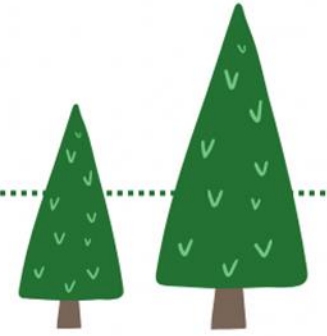
テーマ

- ①基本計画（案）に基づいた、審議会メンバーの施設や機能のイメージの共有
- ②各建設候補地に対する委員相互の意見交換

5 今後の進め方について



今後の進め方について



建設候補地の選定基準の整理

- ・ 各委員の意見をもとに、建設候補地を選定するための基準や大切なポイントを整理する



基本計画（案）に基づいたコンセプトを叶えられる候補地はどこかを検討